

令和5年度 構造設計1級建築士 法適合確認 対策コース【日曜】日程表

●早期受講

・先行講座(本講座の基礎となる「構造力学」(3時間))を令和4年7月上旬より先行受講可能(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標
1	令和4年	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する。
2	7月上旬	1時間		たわみ、降伏と終局	
3	～	1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(12.5時間)(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標
1	令和4年 10月下旬 ～	1.5時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	1級建築士レベルの建築構造の知識を確認する。
2		2.0時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		2.0時間		構造設計の基礎、構造計画等	
4		1.75時間	各種構造・材料	鉄骨造	
5		1.75時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1.75時間		基礎構造	
7		1.75時間		木造、その他の構造等、建築材料	

●構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座 (令和5年)(70.5時間)

回数	日程	時間(休憩等を除いた時間)		科目	内容	学習目標	
	5月開講						
1	5/21(日)	10:30～17:00	5時間	共通1	ガイダンス、修了審査で問われる能力と過去の出題内容 緑本活用のポイント、記述・スケッチ・手計算の練習	共通して学んでおくべき内容と学習の仕方	
2	5/28(日)	10:30～17:00	5時間	共通2	黄色本活用のポイント(黄色本の確認項目&問題演習)		
3	6/4(日)	10:30～17:00	5時間	法適合確認1	耐震二次設計、保有水平耐力計算 構造計画・モデル化、構造設計のあるべき姿、構造関係規定	法適合確認における各項目について、出題ポイントを理解し、解答力を高める。 講義2回ごとに答練を実施し、そこまでの履修範囲が正しく解けるかの確認と修正を行う。	
4	6/11(日)	10:30～17:30	5.5時間	法適合確認2	鉄骨構造		
5	6/18(日)	10:30～17:00	5時間	法適合確認 中間答練	法適合確認1～2 答練 答練		
6	6/25(日)	10:30～17:30	5.5時間	法適合確認3	鉄筋コンクリート造 免震構造・制振構造		
7	7/2(日)	10:30～17:30	5.5時間	法適合確認4	基礎構造、木造、混構造 限界耐力計算、非構造部材、経験記述		
8	7/9(日)	10:30～18:00	6時間	法適合確認 総合答練	法適合確認1～4 答練 答練		
9	7/16(日)	10:30～15:00	4時間	模擬修了審査(1) 法適合確認	模擬修了審査(法適合確認)演習・解説 添削		予想問題で実践形式演習
10	7/30(日)	10:30～15:00	4時間	模擬審査(1)確認講義 法適合確認	模擬審査の出題背景・ねらいの確認と自身の解答の検証・対策		類似・応用問題 対応力向上
11	8/13(日)	10:30～15:00	4時間	項目別演習 法適合確認1	法適合確認 S造のアウトプットトレーニング 添削	項目別アウトプットトレーニングで集中的に得点力を向上させる。	
12	8/27(日)	10:30～15:00	4時間	項目別演習 法適合確認2	法適合確認 RC造のアウトプットトレーニング 添削		
13	9/10(日)	10:30～15:00	4時間	項目別演習 法適合確認3	法適合確認 その他項目のアウトプットトレーニング 添削		
14	9/24(日)	10:30～15:00	4時間	模擬修了審査(2) 法適合確認	模擬修了審査(法適合確認)演習・解説 添削	予想問題で実践形式演習	
15	10/8(日)	10:30～15:00	4時間	模擬審査(2)確認講義 法適合確認	模擬審査の出題背景・ねらいの確認と自身の解答の検証・対策	類似・応用問題 対応力向上	

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

9月中旬～下旬(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10月中旬～11月上旬 構造設計一級建築士講習 修了審査



早期学習期間(本講座前の基礎固め)

前半期間(インプット+答練でアウトプット)

後半期間(アウトプット) 添削あり